

わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター
ライフドアすわの取り組み

地域包括ケアシステムを支える人々

皆さんは諏訪市医師会附属看護学院をご存じでしょうか。今、諏訪圏内でただひとつ開校している准看護師を養成する専門学校です。今回はその歴史と地域の医療や介護などの連携について御紹介いたします。

昭和26年乙種看護婦と称された制度が廃止され、新たに「保健婦産婦看護婦法の一部を改正する法律」が公布されたことにより、准看護婦制度が発足することとなりました。その翌年に本学院は開校しています。社会の動きに対し素早く舵を取り、当時の諏訪市医師会長先生はじめ多くの方々のご尽力により開校しました。それから現在まで諏訪市医師会より多大な負担と、大勢の医師会員の先生方の献身的な協力によって維持されてきました。そして現在74期生が在籍している当校は、准看護教育の歴史そのものであると誇りに思っています。

現在当校では多岐にわたるカリキュラムのうち、「人間と生活・社会」という科目の中で、地域包括に関連した授業展開をしています。保健医療福祉のしくみに支えられた人の生活・諏訪の地域で暮らす人々の特徴・保健医療福祉を支える職種・多職種連携に必要なコミュニケーション技術など講義内容は幅広く多様です。そのため



諏訪市社会福祉協議会・諏訪市生涯学習課・諏訪市高齢者福祉課・ライフドアすわなどに講師をお願いしています。また諏訪市社会福

すわじゅん

諏訪市医師会附属准看護学院

「わが街」の口

諏訪市医師会附属准看護学院 教務主任

みや さか みず え 宮坂 瑞恵

将来の地域医療・介護を支える 人材確保の入り口として

准看護学校の役割と課題

社協議会のご協力のもと『高齢者サロン』に参加し、サロンの方と一緒に運動などをして、『コミュニケーション』を取り、地域の方との交流の場を設けています。これらの講義や体験を通して、諏訪地域で暮らす人々をどう支え、そこからより専門分野へと学びを深めています。

医療の現場で実践力を磨く臨地実習は、諏訪圏内の病院・診療所・介護老人保健施設等において、患者さん・ご家族・そこで働いている多職種のスタッフの方々のご協力のもと行っています。この場をお借りして、当校にご協力いただいております関係者の皆様に感謝申し上げます。

地域医療・介護連携の推進には地域を支える看護人材の育成が不可欠です。当校は近年県内において進学率・就職率が100%であ



諏訪市医師会附属准看護学院のホームページのQRコード



@SUWA.JUNKANGOGAKUIN 諏訪市医師会附属准看護学院のインスタのQRコード

り、地域に根差した准看護師育成の役割も担っています。看護学校・准看護学校は地域の医療・介護を支える人材確保の入り口として、地域の課題と教育をつなぐ中心的役割を果たしていく責任があると感じています。

しかしこの数年少子化や医療職志願者の減少により、日本全国で多くの看護学校・准看護学校で定員割れが課題となっています。当校は定員確保を目指すべく、令和6年度に「すわじゅん」というオリジナルキャラクターを作成しま



「すわじゅん」のキャラクター

した。この1年でそのキャラクターを使ったクリアファイル・チロルチョコ・カラヒナなどを作成し、受験希望者が学校見学に来た際に配布したり、フリーペーパーに掲載してPR活動をしています。また学校の様子などをインスタグラムで発信し、リアルな在校生の姿を届けたいです。

またライフドアすわのセンター長でもあり、当校の学院長でもある高林康樹先生は、所有するバスに「すわじゅん」のラッピングをし、広告媒体として走らせています。加えて学内環境充実のため、諏訪湖の見える出窓のコーナーを、カウンセリングや学生が自由に使えるスペースとして改装していかうという企画を検討しています。

看護学校・准看護学校が活性化すれば、地域の医療・看護・介護も活性化するの思いを持ち続けながら、今後も力を尽くしていきたいと思っております。

次回は2月8日掲載予定